

 水道ホットニュース	<p>(財)水道技術研究センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215 E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp URL http://www.jwrc-net.or.jp</p>
---	---

米国 2008 年度水道統計について（その1）

（はじめに）

米国では、原則として毎年度、環境保護庁（EPA）から「水道統計（正式には、FACTOIDS：Drinking Water and Ground Water Statistics）」が出されています。

そこで、「水道ホットニュース第66号（平成19年7月13日付け、米国2005年度水道統計と日米比較について）」では、インターネットで資料が入手可能な1998年度から2005年度までのデータを用いて、米国の水道事業体数、給水人口などについて紹介するとともに、水道事業の区分や会計年度の相違などから厳密な比較は困難ですが、参考として、日米比較についても試みたところです。また、2008年3月、EPAから2006年度及び2007年度の統計データが公表されたことから、これらのデータを用いてデータの更新を行い、水道ホットニュース第116-2号（平成20年7月7日付け）及び第117号（平成20年7月11日付け）でその概要を紹介したところです。

2008年12月、EPAは2008年度の統計データを公表したところであり、ここでは2008年度データを加えたものを紹介することとします。

なお、以下に紹介する内容の詳細については、EPAホームページを参照していただくようお願いいたします。また、以下の内容に誤り等がありましたら、ご教示いただければ幸いです。

（出典）

http://www.epa.gov/OGWDW/databases/pdfs/data_factoids_2008.pdf

（注）米国の会計年度は「10月から翌年9月まで」ですので、ご注意ください。

1. 米国における水道の分類

米国水道統計における水道の分類は、次のとおりである。

①市町村水道システム（Community Water System）

公共用の水道システム（Public Water System）で、年間を通じて、少なくとも25人以上の同じ人々又は15以上の同じ給水栓に対して水道水を供給するシステムをいう。

②専用水道システム（Non-Transient Non-community Water System）

公共用の水道システムで、25人以上の同じ人々に対して、1年間のうち6ヵ月以上水道水を供給するシステムをいう。例としては、自己の水道システムを持つ、学校、工場、オフィスビル、病院が挙げられる。

③一時利用水道システム（Transient Non-Community Water System）

公共用の水道システムであるが、ガソリンスタンドやキャンプ場などのように、一時的に利用する人々に対して水道水を供給するシステムをいう。

2. 米国 2008 年度水道統計の概要

2008 年度において、米国には 155,000 の公的な水道システム (public drinking water systems) が存在する。これらの各々のシステムは、25 人以上の人々又は 15 以上の給水栓に対して、水道水を供給している。

表 1 に示すように、米国のほとんどの人々 (292 百万人) は、市町村水道システムから水を得ている。そして、約 52,000 の市町村水道が存在するが、82% の人々は、8% (4,132 システム) の「規模の大きい水道システム (給水人口 10,001 人以上)」から水道水の供給を受けている。

表 2 は水道水源の内訳であり、多くの水道システムが地下水に依存しているものの、多くの人々は表流水を水源とする水道システムから供給を受けていることがわかる。

表1 水道システム別・給水人口別にみた水道システム数・給水人口(米国 2008 年度水道統計)

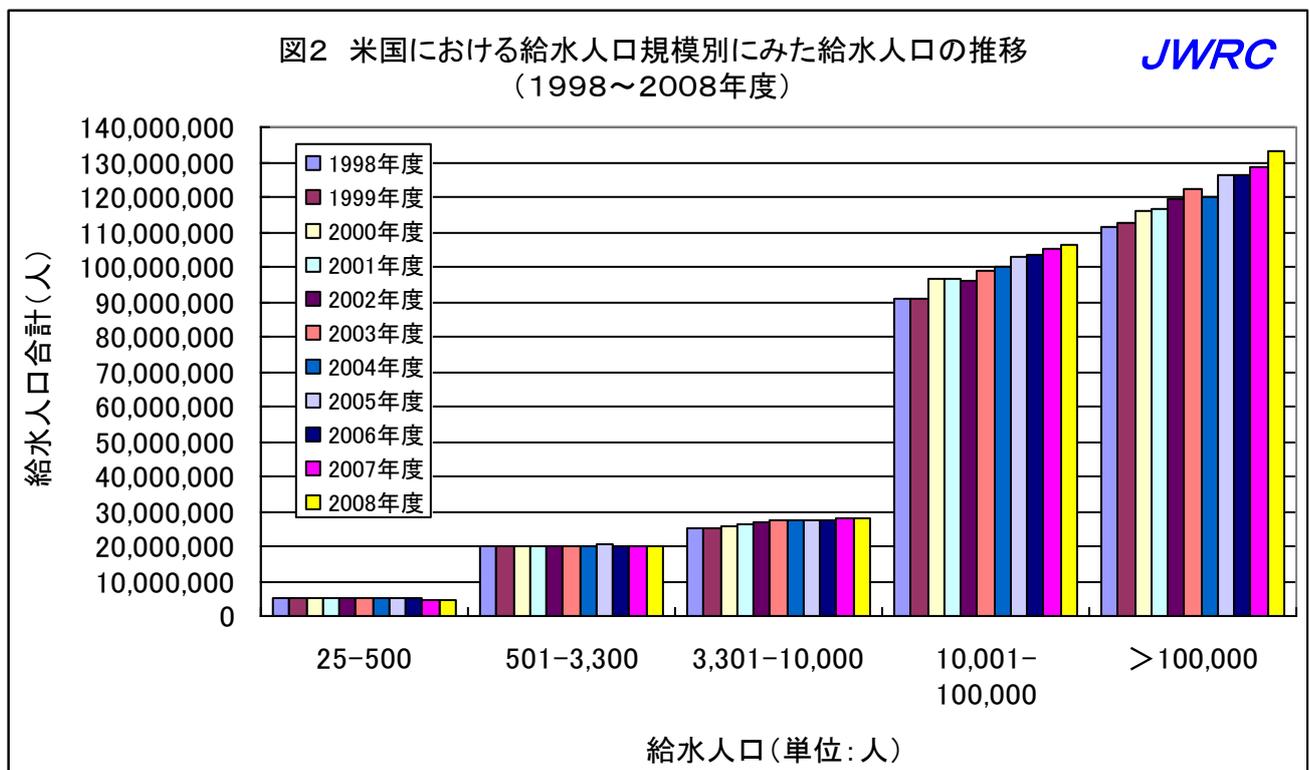
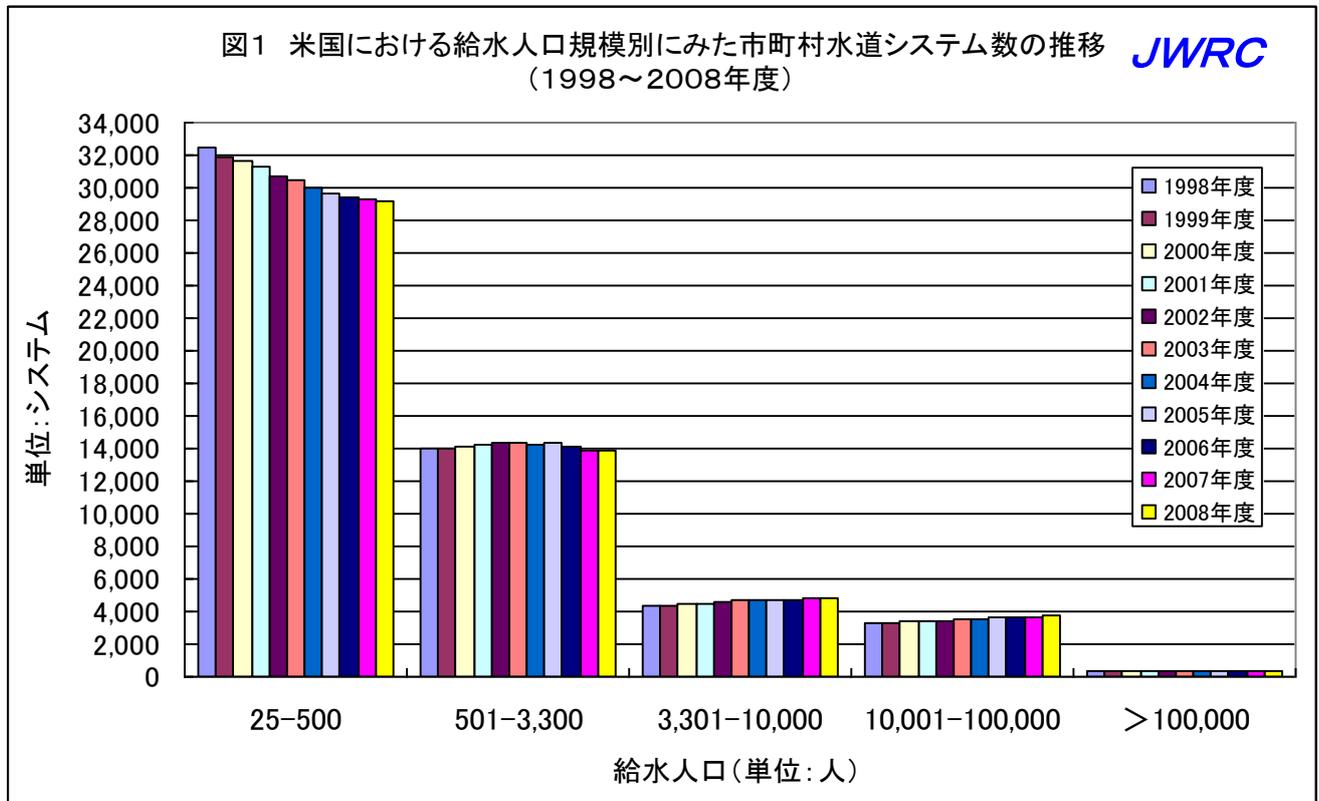
		500 人以下	501~ 3,300 人	3,301~ 10,000 人	10,001~ 100,000 人	100,000 人 以上	合計
市町村水道 システム	システム数	29,160	13,858	4,838	3,728	404	51,988
	給水人口	4,857,104	19,868,795	28,134,557	106,310,834	133,128,786	292,300,076
	システム比率	56%	27%	9%	7%	1%	100%
	給水人口比率	2%	7%	10%	36%	46%	100%
専用水道 システム	システム数	15,954	2,641	130	16	1	18,742
	給水人口	2,234,688	2,701,807	702,369	412,160	203,000	6,254,024
	システム比率	85%	14%	1%	0%	0%	100%
	給水人口比率	36%	43%	11%	7%	3%	100%
一時利用 水道システム	システム数	81,324	2,705	101	17	2	84,149
	給水人口	7,197,477	2,625,850	542,458	482,151	1,725,000	13,572,936
	システム比率	97%	3%	0%	0%	0%	100%
	給水人口比率	53%	19%	4%	4%	20%	100%
システム合計	システム数	126,438	19,204	5,069	3,761	407	154,879

表2 水道システム別・給水人口別にみた水道水源の内訳(米国 2008 年度水道統計)

		地下水	表流水	合計
市町村水道システム	システム数	40,301	11,671	51,972
	給水人口	88,039,047	204,094,646	292,133,693
	システム比率	78%	22%	100%
	給水人口比率	30%	70%	100%
専用水道システム	システム数	18,041	688	18,729
	給水人口	5,462,056	788,360	6,250,416
	システム比率	96%	4%	100%
	給水人口比率	87%	13%	100%
一時利用水道システム	システム数	82,126	2,010	84,136
	給水人口	11,036,800	2,534,900	13,571,700
	システム比率	98%	2%	100%
	給水人口比率	81%	19%	100%
システム合計	システム数	140,468	14,369	

3. 米国における水道システム数及び給水人口の推移

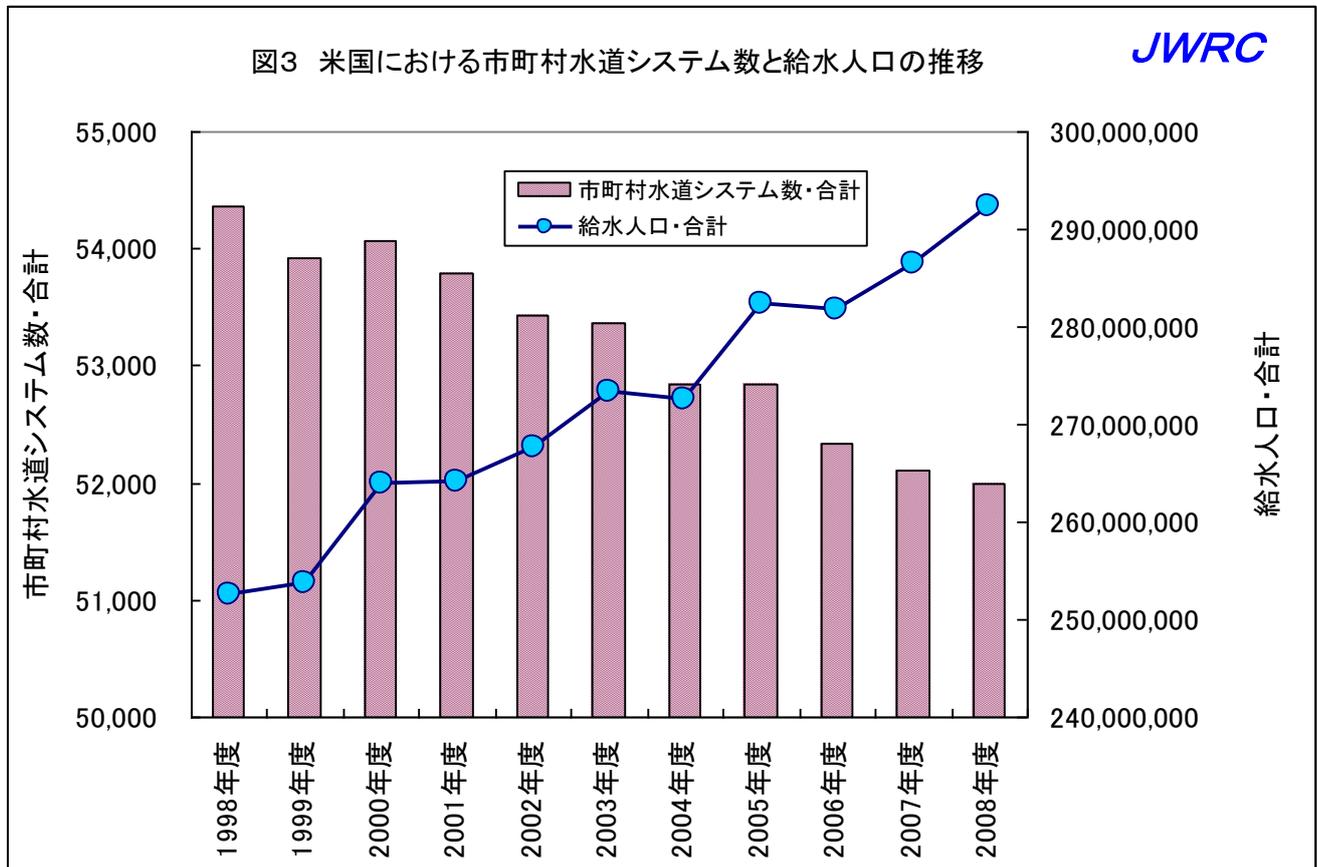
米国における水道事業体数及び給水人口の推移（1998～2008年度）は図1・図2のとおりであり、規模の小さい水道システムの数・給水人口が減少し、規模の大きい水道システムの数・給水人口が増加傾向を示している。



4. 市町村水道システム数と給水人口の推移

図3は、米国における過去11年間（1998～2008年度まで）の市町村水道システム数と給水人口の推移をグラフで示したものである。

グラフからわかるように、米国では、全体として給水人口は増加傾向が続いているが、市町村水道システムの合計は減少傾向にある。



（文責）センター常務理事兼技監 安藤 茂

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h20.html>